

岩木川ダム 統管だより

065号
2022年
(令和4年)
9月30日

令和4年8月9日出水における 浅瀬石川ダム・津軽ダムの効果について ～ダム群の連携と再開発ダムにより洪水を軽減～

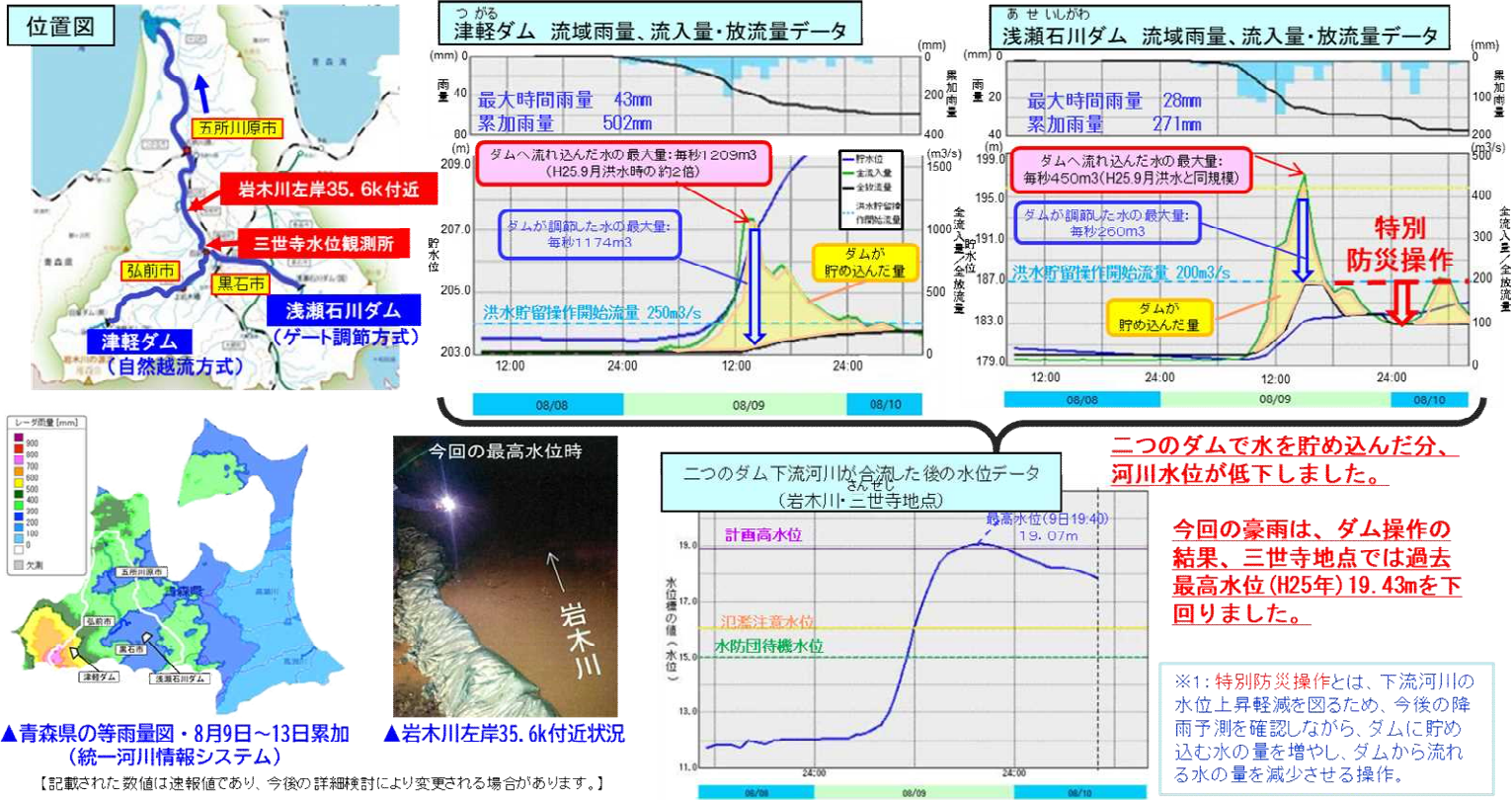
令和4年8月9日(火)、前線の影響により青森県内は大雨となりました。岩木川ダム統管理事務所では、災害対策支部設置基準により8日17時に「注意体制」を設置、翌9日6時30分より「警戒体制」に移行しました。当事務所が管理する、浅瀬石川ダム(黒石市)・津軽ダム(中津軽郡西目屋村)では、ダムへ流入する洪水を貯め込み、洪水被害の軽減に寄与しました。

浅瀬石川ダムでは、通常の洪水調節と別に『特別防災操作(ダム放流量の絞り込み)』を行い、下流河川の水位低減に貢献しました。また、津軽ダムでは旧目屋ダム洪水調節容量(2,400万 m^3)を超える2,800万 m^3 の流入があり、旧目屋ダムでは緊急放流の可能性がありましたが、津軽ダムの洪水調節容量(5,000万 m^3)内に収まったことから緊急放流は生じませんでした。

1. 岩木川水系のダム統管理の効果

【岩木川ダム統管理事務所では、ダムの特別防災操作*1を実施する等、下流河川の水位低減に努めました】

- ◆津軽ダム上流域では累加雨量が502mmに達する大雨になり、津軽ダムへの**最大流入量が毎秒1,209 m^3** となり、**管理開始(H29)以降第1位**で、最高水位を記録した平成25年9月洪水時の約2倍の最大流入量を記録しました。
- ◆浅瀬石川ダムでは、**特別防災操作*1**を実施して、下流河川の水位低減のため、ダム放流量を絞り込みました。



二つのダムで水を貯め込んだ分、河川水位が低下しました。

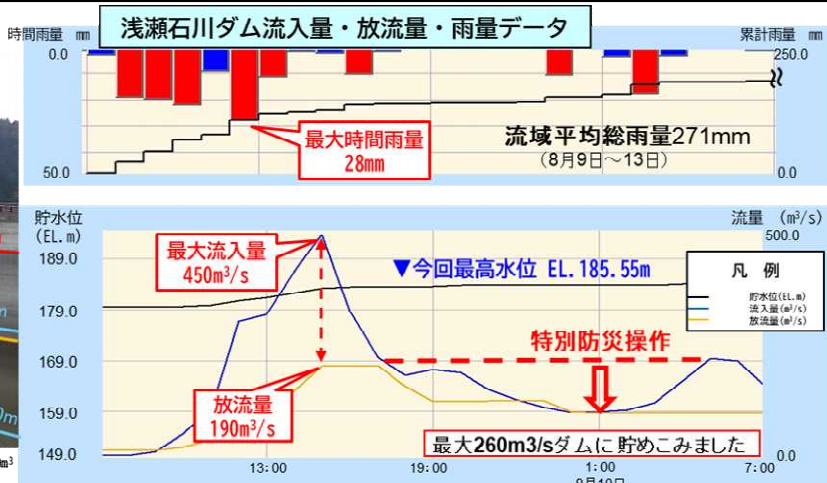
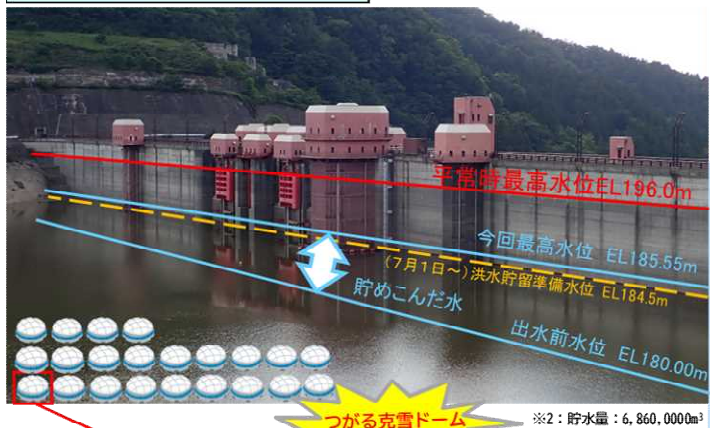
今回の豪雨は、ダム操作の結果、三世寺地点では過去最高水位(H25年)19.43mを下回りました。

*1: 特別防災操作とは、下流河川の水位上昇軽減を図るため、今後の降雨予測を確認しながら、ダムに貯め込む水の量を増やし、ダムから流れる水の量を減少させる操作。

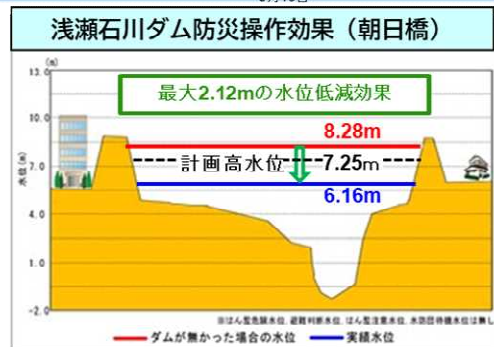
2. 岩木川水系のダムの効果（浅瀬石川ダム）

- ◆8月9日からの前線や低気圧に伴う降雨により、**ダム流域平均雨量累計271mm**を記録するとともに、**ダムへの流入量が450m³/s**を記録した。
- ◆浅瀬石川ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約22杯分※2
- ◆ダムの洪水調節により**朝日橋水位観測所（田舎館村大字川部）の水位を約2.12m低減**出来たと推測

浅瀬石川ダムに貯め込んだ量



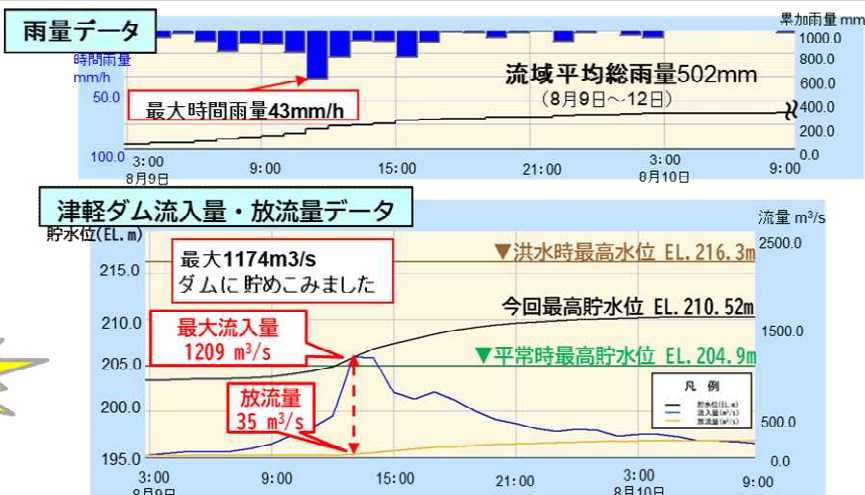
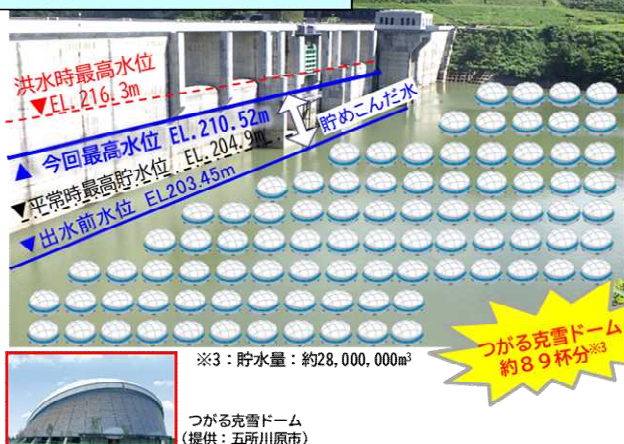
放流中の浅瀬石川ダム（令和4年8月8日）



3. 岩木川水系のダムの効果（津軽ダム）

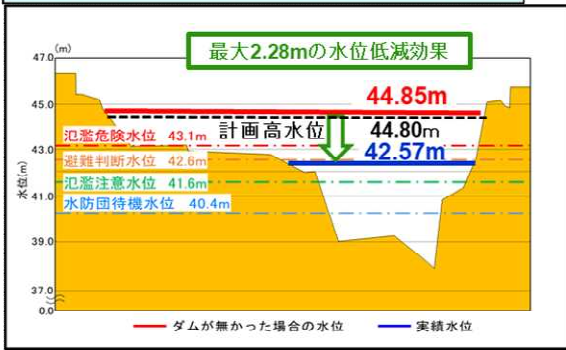
- ◆8月9日からの前線や低気圧に伴う降雨により、**ダム流域平均雨量累計502mm**を記録するとともに、**ダムへの流入量が1,209m³/s（既往最大流入量）**を記録した。
- ◆津軽ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約89杯分※3
- ◆ダムの洪水調節により**上岩木橋水位観測所（弘前市下湯口字青柳）の水位を最大約2.28m低減**出来たと推測
- ◆今回、津軽ダムに貯めた水の量は、目屋ダム（平成27年管理終了）の洪水調節容量を約400万m³上回るため、**緊急放流の可能性**があり、さらに下流河川の水位が上昇する恐れがあったが、津軽ダムにより危険回避された。

津軽ダムに貯め込んだ量

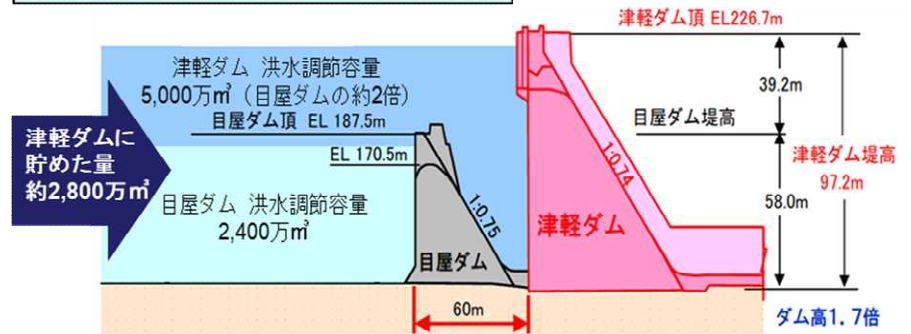


つがる克雪ドーム (提供：五所川原市)

津軽ダム洪水調節効果(上岩木橋)



再開発前(目屋ダム)との比較



浅瀬石川、津軽両ダムの効果により、下流河川水位低下に寄与し、下流鶴田町では水防活動(積み土のう)と相まって堤防越水を防止できたと推測されます。

登録無料! ダム放流をあなたのスマホにお知らせします



岩木川ダムメール 始動!!



岩木川ダム統管理事務所は、所管する「浅瀬石川ダム」「津軽ダム」の放流開始をメールでお知らせする「岩木川ダムメール」を令和4年10月1日(土)から運用開始します。「岩木川ダムメール」は、ダムからの放流に関する情報を中心としたメール配信サービスで、事前に登録した利用者にダムから放流があることを**※メール**でお知らせするものです。

ダムから放流する際は、警報設備(スピーカ及びサイレン)で地域の皆様に周知していますが、強い雨の時など十分聞き取れなかったり、サイレンは聞こえるけど何の注意喚起なのか不明だったりします。

「岩木川ダムメール」を登録すれば、警報設備から離れた地域にいたとしてもメールを受信できるエリアであれば、ダムから放流があることを「文字情報」として確認することができます。(従来の周知方法を変更するものではありません。)

近年頻発している異常豪雨や局地的な大雨等に伴う水害の教訓を踏まえ適切な避難行動や人的被害を軽減するためには、水害に対する防災意識の向上や平常時からの備えが重要です。「岩木川ダムメール」を登録して、防災力を強化しましょう。

※両方のダムを登録することも、片方のダムのみを登録することも可能です。また、岩木川ダムメールでは試験配信を兼ねたダム情報も不定期で配信予定です。

登録方法

STEP 01 はじめに

受信制限機能を利用している場合には「sg-p.jp」ドメインのメールが受信できるよう設定変更をお願いします。フィーチャーフォンやPCメールにも登録可能です。

STEP 02 サイトへアクセス

右記のQRコードを読み込むか、または下記のアドレスを入力してください。
<https://plus.sugumail.com/usr/iwakigawa-dam/home>



STEP 03 仮登録(空メール送信)

空メールを送信すると仮登録完了メールが届きます。URLを選択し、本登録サイトへアクセス。指示に従って必要事項を入力してください。

- 浅瀬石川ダム
- 津軽ダム

STEP 04 登録完了

配信が開始されます。

※フィーチャーフォンやPCメールにも登録可能です。

大雨被害の青森県深浦町へ

現地情報連絡員(リエゾン)を派遣しました

令和4年8月9日の大雨により被災した深浦町に8月19日(金)から派遣していた現地情報連絡員(リエゾン)が8月25日(木)、任務を終えて帰還しました。岩木川ダム統管理事務所から派遣したリエゾンは、深浦町役場内において、町・TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)・国土交通省との窓口となる業務を担当しました。

当事務所からリエゾンとして出向いた酒井管理課長は、「TEC-FORCEは、ドローンで見た災害現場を実際に現地で査定しないとイケない。行かない場所があれば町の職員が行かなければならないので責任をもって活動している。リエゾンは、現場の声、町の意見などを調整する役割を担い、町の職員から喜んでいただけたのではないかと。今後も相談したいと言っていた。」と振り返りました。

※リエゾン(災害対策現地情報連絡員)とは、大きな災害が発生した際に、被災自治体へ出向き、災害情報等の情報収集や災害対策の支援等を行う目的で派遣されます。リエゾンは、被災地の詳しい被害情報やニーズをより迅速に把握するための重要な役目を担っています。



▲横田事務所長からの激励を受けて出発



▲災害対策用ヘリコプター「みちのく号」から ▲近隣自治体(鯉ヶ沢町)との打ち合わせの様子の空撮映像を提供

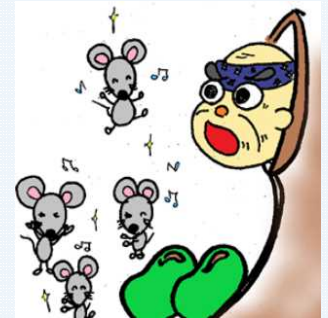
◆資料やリスト作りの作業も行いました

今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話 津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第7作目となる9月のお話は『豆コの話』です。

ネズミの穴に転がった豆がもったいなくて追いかけた正直者のおじいさん、そこは異界のネズミワールド。あることで大金をゲット。それを聞いた隣のおじいさんはどうする…。



編集後記

本号では、8月9日の出水についての記事をメインにお届けしました。リエゾン派遣について酒井管理課長にお話を伺った際には、大変貴重な裏話も聞く事が出来ました☆1週間の滞在中で、宿の方のあいさつが「おかえりなさい」に変わったり、滞在しているのが災害対応関係者ばかりなのが車の色や車種で一目瞭然だったり、朝食の納豆が袋に入っていて、毎朝チュオル(犬猫のおやつ)のように袋ごと吸っていたなど…他にもたくさん(笑)

深浦町役場での仕事は、緊迫感があったり疲弊している様子がお話からうかがえ、すごく遠い人という感じがしました。が!裏話を聞いて、任を終えたら普通のおじいさんに戻っている様子でとてもほっこりしました☺ (対馬)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422

青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



(ホームページ)

(Twitter)

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit_iwakito